

平成26年度第2回芦屋市立義務教育諸学校教科用図書採択協議会 会議要旨

日 時	平成26年7月25日（金） 13：30～17：45
場 所	芦屋市役所北館2階 会議室3
出席者	委員長 組織代表者 副委員長 学識経験者 委 員 組織代表者 4名 市職員 1名 調査研究専門員 各種目2名 事務局 北野 章 野村 実貴 野間 靖雅
事務局	学校教育課
会議の公表	<p>■ 非公開</p> <p>会議の冒頭に諮り、出席者7人中7人の賛成多数により決定した。 (非公開とした理由)</p> <p>公開にした場合、当該会議の公正又は円滑な運営に支障を生じることが認められるため、非公開とする。</p>

1 会議次第

- (1) 資料説明（事務局）
- (2) 非公開の決定
- (3) 調査研究専門員会 報告と質疑
- (4) 協議および教育委員会への報告について
- (5) 事務連絡

2 提出資料

- 資料1 平成27年度使用候補小学校教科用図書発行者一覧表
- 資料2 平成26年度使用中学校教科用図書一覧表
- 資料3 平成26年度特別支援学級における一般図書と下学年本、拡大教科書の使用状況
- 資料4 平成27年度使用小学校教科用図書調査研究報告書
- 資料5 平成27年度用学校教育法附則第9条の規定による教科用図書調査研究資料
- 資料6 平成27年度使用小学校・中学校用教科用図書の採択についての報告書

3 審議経過

上記のことについて、各種目の調査研究専門員から報告を受け、以下の点について協議・決定した。

- (1) 調査研究報告書の様式1について、第一候補の理由を明確にさせる。
- (2) 第一候補の理由が、ポイントを絞りすぎたものにならないようにする。
- (3) 文章記載がなく二重丸、丸などで表した表は、説明を聞かなければ詳細がわからないため、できる限り文章標記にする。
- (4) 調査研究業務の報告書については、会の開催以外にも、メールでのやりとりがあった場合は、その旨を記載する。
- (5) 教育委員会への報告書については、候補1・2共通の候補理由と候補1のみの候補理由を分けて、明確にさせる。
- (6) その他、報告の各種目の内容について、協議を行った。